
令和 6 年度
第 4 次春日部市
行政改革大綱における
外部評価結果報告書

令和 7 年 2 月

総合政策部行政デジタル改革課

目 次

1	第4次春日部市行政改革大綱における「外部評価」の実施目的…	1
	(1) 外部評価の目的	1
	(2) 行政改革大綱進捗管理シートの作成	1
2	外部評価の実施方法	2
	(1) 外部評価者	2
	(2) 外部評価対象取組	2
	(3) 外部評価の視点	3
	(4) 外部評価の実施に向けたスケジュール	4
	(5) 外部評価当日の流れ	4
3	外部評価の結果	5
	(1) 結果概要	5
	(2) 各取組の評価結果	5
	・ 自主財源の確保（行政デジタル改革課）	6
□	参考資料（自主財源の確保調査票）	9
	・ 政策企画課	9
	・ シティセールス広報課	10

1 第4次春日部市行政改革大綱における「外部評価」の実施目的

(1) 外部評価の目的

本市では、以下の目的を達成するため、第4次春日部市行政改革大綱における外部評価を実施しています。

【外部評価の目的】

目的1：評価の客観性や信頼性、更には透明性を高める。

目的2：市民の意見を今後の行政改革大綱の取組に反映させる。

取組を所管する担当課が実施した行政改革大綱における取組の評価に対し、行政改革審議会委員の専門的な見地や、市民の立場からの視点により、再度、評価いただくことで、評価の客観性や信頼性の確保を図り、さらには、こうした意見を次年度以降の取組に反映させることを目的として、行政改革審議会委員による外部評価を実施します。

このように、担当課による評価の実施と行政改革審議会委員による外部評価の実施により、本市の行政改革大綱の目標を達成するためのサイクルを回すことで、時代の変化に対応した持続可能な行政運営の推進が可能になるものと考えています。

(2) 行政改革大綱進捗管理シートの作成

本市では、令和5年度から令和9年度までを計画期間とする「第4次春日部市行政改革大綱」で設定された15の取組に対して、各取組を所管する担当課が、進捗管理を行うにあたり、行政改革大綱進捗管理シートを作成しています。

この行政改革大綱進捗管理シートは、令和5年度の取組の実績・成果（財政効果額、時間削減効果）および令和6年度以降の展望を記載し、各取組の進捗や効果を確認するとともに、市が取り組んでいる取組の成果の概要について、市民にわかりやすく公表することを目的に作成するものです。

2 外部評価の実施方法

(1) 外部評価者

外部評価の実施に当たっては、本市の行政改革審議会を評価者としています。

行政改革審議会は、社会情勢の変化に対応した効率的で効果的な市政を推進するため、市の行政改革に関する事項を調査審議している附属機関であり、第4次春日部市行政改革大綱における外部評価の実施目的に即した評価をいただけるものとして、当審議会に評価をお願いしています。

なお、行政改革審議会の委員構成は次のとおりです（令和6年10月29日時点）。

《行政改革審議会委員》

No	役 職	氏 名	備 考
1	会 長	野 崎 彰	税 理 士
2	副会長	宣 賢 奎	共栄大学国際経営学部教授
3		岩 崎 満 範	株式会社武蔵野銀行春日部支店長
4		臼 井 俊 英	春日部商工会議所常議員
5		海 老 原 光 男	春日部ロータリークラブ理事
6		太 田 綾 子	庄和商工会青年部長
7		竹 村 光 生	株式会社エナジー宇宙(旧：株式会社東彩ガス)総務企画部長
8		村 上 裕 子	民生委員・児童委員協議会庄和南地区会長
9		竹 内 美 紀	市内在住
10		山 本 孝 枝	市内在住

(2) 外部評価対象取組

本市の本年度の外部評価の対象は、第4次春日部市行政改革大綱における15の取組となっています。

外部評価の実施に当たっては、下記の選定基準に従い対象となる取組を厳選しています。

令和6年度の外部評価対象となる取組は、行政改革審議会の承認を経て、「自主財源の確保」を選定しました。

【外部評価対象取組の選定基準】

外部の視点から、時代の変化に対応した持続可能な行政運営や質の高い行政サービスなどの観点でご意見をいただきたい取組で、かつ市民にとって関心があると考えられる取組

【外部評価対象取組】（１取組）

No.	取 組 名	担当課
1	自主財源の確保	行政デジタル改革課

（３）外部評価の視点

外部評価は、進捗管理シートに記載された担当課の評価や今後の方向性について、主に次の４つの視点から審議を行いました。

また、これらの視点から意見交換を行った後に、審議会として考える取組の今後の方向性（拡充・現状維持・見直し）を導き出しました。

【外部評価の視点】

①「現状と課題」の的確性

- ・現状に関する記載に対し、市民感覚との乖離はないか。
- ・課題認識の妥当性はあるか（他に課題はないか）。

②「令和５年度取組状況」の的確性及び取組内容の妥当性

- ・「成果指標」の達成率やグラフは的確か

③「今後の方向性」の妥当性

- ・担当課が考える方向性の他に、具体的な見直し・改善点はあるか。
- ・取組の充実に向けて、予算配分等に配慮すべき点はあるか。
- ・担当課による「今後の方向性」（拡充・現状維持・見直し）は、妥当と認められるか。（審議会としての方向性は。）

④「令和６年度以降に向けた課題及び今後の取組方針」の妥当性

- ・担当課が考える課題及び今後の取組方針の他に、具体的な見直し・改善点はあるか。
- ・取組を効果的に実施するための新たな（別の）取組手法はあるか。
- ・担当課による当該取組の評価課題は妥当と認められるか。
- ・担当課が考える今後の取組方針に妥当性はあるか。

【今後の方向性の選択肢】

拡 充…取組増の上で継続
現状維持…計画通り継続
見 直 し…改善の上で継続

（４）外部評価の実施に向けたスケジュール

実施日	内 容	備考（主な実施内容等）
令和 6 年 8 月 1 9 日	第 1 回行政改革審議会	・ 外部評価の実施方法について確認 ・ 外部評価対象取組の選定
9 月 2 0 日 ～ 1 0 月 2 日	事前質問の受付	・ 対象取組の進捗管理シート 及び概要について確認 ・ 各委員からの事前質問を受付
1 0 月 2 9 日	第 2 回行政改革審議会	・ 外部評価の実施

（５）外部評価当日の流れ

外部評価当日は、次のような流れにより、1 取組あたり概ね 25～30 分で実施しました。

①外部評価対象となる取組の説明（3 分）

- ・ 取組の担当課から「進捗管理シート」の記載内容について、補足も含め説明



②質疑応答（10 分～15 分）

- ・ 委員からの事前質問に対して担当課が回答
- ・ 委員からの再度の質問や事前質問以外の質問に対して担当課が回答



③意見交換（10 分程度）

- ・ 取組の進捗状況や課題、評価と今後の方向性等に対して、外部評価の視点に基づきながら、委員同士で意見交換
- ※必要に応じて担当課及び事務局との意見交換等も実施



④意見の集約（２分程度）

- ・担当課及び事務局の説明や質疑応答、意見交換を踏まえ、実施担当課における今後の方向性（拡充・現状維持・見直し）の妥当性を、多数決により判定
- ⇒審議会として考える取組の今後の方向性（拡充・現状維持・見直し）を提示

３ 外部評価の結果

（１）結果概要

各取組の担当課の評価（担当課が考える今後の方向性）について、審議会から以下のような評価結果が示されました。

【担当課の評価と外部評価結果の比較】

取 組 名	担当課の評価 （今後の方向性）	外部評価結果 （審議会の意見）
自主財源の確保	拡充	拡充

（２）各取組の評価結果

外部評価対象取組の進捗管理シート及び評価結果は、次ページ以降のとおりです。

なお、委員からいただいた意見については、今後の取組に向けた参考として担当課にフィードバックし、取組に反映できるものについて検討した上で、取組の見直し等に繋げていきます。

取組項目No.	1	担当課	行政デジタル改革課		
推進項目	積極的な歳入増加				
取組	自主財源の確保				
現状と課題	生産年齢人口の減少により市税の大幅な伸びを見込むことが困難な一方で、少子高齢化による社会保障関連経費の増加が見込まれることから、財源確保を進める必要があります。				
実施内容	企業誘致や地域産業の振興を積極的に推進することにより、市税の増収を図るとともに、ふるさと納税や有料広告収入などをはじめとした自主財源の確保に努めます。				
目標	市税以外の自主財源収入額			現状値 (令和3年度)	51,754千円
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
目標値	107,000千円	157,000千円	207,000千円	257,000千円	308,000千円
実績値	133,303千円				
達成率	124.6%				
財政効果額(千円)	94,051				
時間削減効果(時間)					

◆実績値の推移

自主財源収入

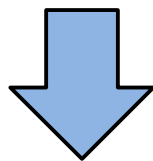
<

【拡充】：取組増の上で継続

【現状維持】：計画通り継続

【見直し】：改善の上で継続

■追加資料
別紙のとおり（自主財源の確保調査票（政策企画課、シティセールス広報課））
■担当課の主な説明等
【企業版ふるさと納税について】 ・令和5年度は2件の企業から計20万円の寄附をいただき、寄附者のご意向により子育て支援とシティセールス事業に活用させていただきました。 ・企業への営業活動を継続しており、令和6年度は前年より多くの企業から寄附をいただける見込みとなっています。 【ふるさとかすかべ応援寄附金について】 ・令和5年度は新本庁舎建設工事クラウドファンディングによる5,591万6千円を含め、計1億2,865万9千円の寄附をいただきました。 ・ふるさと納税にかかる基準や返礼品の基準が厳しくなっておりますが、春日部市の返礼品の中でも魅力あるものを選定して、目標金額に届くよう実施してまいります。 【有料広告収入について】 ・令和5年度は広告収入として444万4千円の収入がありました。 ・広報紙の紙面が限られておりますが、スペースを有効活用してまいります。 【ネーミングライツについて】 ・令和6年10月より公共施設3施設にネーミングライツを導入しており、今後の拡充に向けて、導入した3施設の事業者へのヒアリングなどを行いながら効果検証を行ってまいります。
■委員の主な意見
【有料広告収入について】 〈市公式YouTube〉 ・市公式YouTubeについて、専門家の意見を取り入れて再生数を増やしていく取組の検討をお願いします。 ・市民が撮った動画を春日部市に上げて、それを広告として有効に使うなどの取組の検討をお願いします。 〈広報紙〉 ・多くの方に見ていただけるよう若者向けの広報紙づくりを考え、ホームページも含めて「いかに見せるか」について検討をお願いします。 ・広報紙の配布を自治会の高齢者がボランティアで担っていて、春日部市だけではなくすべての市町村の課題になっており、時代の流れに沿って、配布方法について真剣に考えていく必要があると思います。 ・現在は自治会に加入していない世帯についても、公共施設に配架している広報紙を手にとっていただけるよう、今後どのように魅力ある紙面づくりをしていくのか検討をお願いします。 【ネーミングライツについて】 ・市民に愛称が浸透していないことや、ネーミングライツによって市に収入が得られることなどが市民には結びついていない部分があるので、PRに力を入れていただきたい。 ・ネーミングライツ導入の効果検証を行い、効果をアピールしていかないと収入を増やしていくことはできないと思います。 【市が保有する普通財産について】 ・市が売り出したり貸し出したりできる土地をインターネットで見ることが出来るようにし、競売のような形で高く売ったり貸したりできる取組の検討をお願いします。
■評価結果
【外部評価結果としての今後の方向性】 【拡充】：取組増の上で継続



■外部評価実施後の担当課の検討状況（外部評価結果の反映に向けた検討内容等）

【有料広告収入について】

〈市公式YouTube〉

専門家からの意見については、機会を捉え伺ってまいります。

動画については、市民から提供いただき掲載したことがございますので対応してまいります。

広告については、掲載要件がございますので、引き続き調査研究してまいります。

〈広報紙について〉

掲載内容などについては、市民へのアンケートなどを生かして、より多くの人に読んでいただけるよう取り組んでまいります。

【ネーミングライツについて】

愛称の周知として、Google、Yahooの地図情報の施設名について、愛称と正式名称の併記を依頼し修正を行うことで、より多くの方に見えていただけるよう対応いたしました。

また、ネーミングライツのPRとして、導入した3施設の愛称周知を目的とし、春日部警察署及び電車、バス、タクシーの市内事業者、自治体間における公共施設の相互利用を目的に組織している東部中央都市連絡協議会に加盟する近隣の自治体（蓮田市、白岡市、宮代町、杉戸町）に対し、通知によりお知らせをいたしました。これにより、市民からの道案内などの問い合わせがあった際には、愛称を認識した上でご対応いただけるものと考えております。

ネーミングライツ導入の効果検証として、ネーミングライツパートナー、施設所管課、市民に対するアンケート調査などを実施し、導入効果をアピールできるよう効果的な周知方法を検討してまいります。

【市が保有する普通財産について】

市が売り出す土地につきましては、春日部市公式ホームページに掲載したり、広報『かすかべ』に掲載したりして競売してきました。今後も同様に掲載して競売してまいります。

また、貸し出しができる土地につきましては、その土地の形状等を調査し、売り出す土地と同様に春日部市公式ホームページや広報かすかべに掲載して公募する取組みを検討してまいります。

自主財源の確保調査票

自主財源収入科目名	企業版ふるさと納税		担当課	政策企画課	
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
目標値	1,000千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円
実績値	200千円				
達成率	20.0%				
財政効果額(千円)	178				
令和5年度の取組状況(実績・成果・財政効果額等)	【実績・成果】 1. 児童館運営事業 100,000円 児童センター(3館)のおもちゃ(幼児用木製キッチンセット)購入費に充当 2. シティセールス推進事業 100,000円 検索連動型広告クリック数の拡充(約280回分)に充当 【取組による効果(財政効果額)】 1. 新しいおもちゃの購入により、利用者のニーズに応えることができた。 2. 市の情報や魅力を発信する機会を増やすことができた。 寄附者の意向に沿った形で事業に活用することができた。				
今後の方向性	拡充				
令和6年度以降に向けた課題及び今後の取組方針	国による税額控除の特例措置は令和6年度までとされている。 今後、拡充・延長された場合は地域再生計画の更新が必要となる。 企業周知やマッチングを代行する民間事業者との契約を増やし、ネットワークを生かした開拓を行うなど、一層のPRを行い積極的に取り組んでいく。				

【拡充】：取組増の上で継続

【現状維持】：計画通り継続

【見直し】：改善の上で継続

自主財源の確保調査票

自主財源収入科目名		ふるさとかすかべ応援寄附金		担当課	シティセールス広報課
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
目標値	100, 000千円	150, 000千円	200, 000千円	250, 000千円	300, 000千円
実績値	128, 659千円				
達成率	128. 7%				
財政効果額(千円)	89, 429				
令和5年度の取組状況（実績・成果・財政効果額等）	【実績・成果】 積極的な市内事業者への説明会開催や新たな魅力あるお礼品の発掘に取り組むことにより、お礼品数や協力事業者数が増加し寄附額を増加させることができました。また、新本庁舎建設工事クラウドファンディングを実施し、目標額を上回る寄附をいただいたことも寄附金増加の要因となっています。				
	【取組による効果（財政効果額）】 寄附額から必要経費（お礼品の調達に係る費用、お礼品の送付に費用、広告に係る費用、決済等に係る費用、事務に係る費用）を除し、財政効果額を積算 財政効果額：89, 429千円				
今後の方向性	拡充				
令和6年度以降に向けた課題及び今後の取組方針	令和6年度以降も、協力事業者の新規獲得と、お礼品の新規開拓を行うとともに、ふるさと納税ポータルサイトの拡充や広告の効果的な運用により、寄附金額の更なる増加を図ります。				

【拡充】：取組増の上で継続

【現状維持】：計画通り継続

【見直し】：改善の上で継続

自主財源の確保調査票

自主財源収入科目名	広報有料広告収入			担当課	シティセールス広報課	
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
目標値	5, 876千円	5, 876千円	5, 876千円	5, 876千円	5, 876千円	
実績値	4, 444千円					
達成率	75. 6%					
財政効果額(千円)	4, 444					
令和5年度の取組状況（実績・成果・財政効果額等）	【実績・成果】 ○広報紙有料広告収入額（令和5年5月号～令和6年4月号） 2, 849, 000円 【74枠×38, 500円＝2, 849, 000円】 ○市公式ホームページ有料広告収入額（令和5年4月～令和6年3月）1, 595, 000円 【トップページバナー広告欄を年間一括で広告代理店に貸付】 【取組による効果（財政効果額）】 広報有料広告は、市の支出がないことから、実績値と財政効果額が同額になります。					
今後の方向性	現状維持					
令和6年度以降に向けた課題及び今後の取組方針	広報紙有料広告は、紙面が限られていることから、行政情報とのバランスを考慮しながら、広告掲載を継続して進めていきます。 市公式ホームページ有料広告は、ホームページへのアクセス件数がコロナ禍に非常に高い件数となっていたが、現在のアクセス件数はコロナ前と同程度になっています。このため、一時的に広告収入が高くなったが、令和4年度は落ち着いたため、収入額が目標値を下回ったものと考えます。（アクセス件数：令和3年度_約713万件、令和4年度_約405万件） 広告掲載件数は概ね変わらないことから、今後も継続して進めていきます。					

【拡充】：取組増の上で継続

【現状維持】：計画通り継続

【見直し】：改善の上で継続